

日本史〔前期A方式(1/29)〕

設問		解答例
I	1	(a) 大化
		(b) 民部省(民部)
		(c) 山田寺
		(d) 臣
		(e) 庚午年籍
		(f) 壬申の乱
		(g) 藤原京
		(h) 長屋王
		(i) 道鏡
		(j) 郡
		(k) 承和の変
	(l) 清和 <small>天皇</small>	
2	大鏡	
II	1	A ウ
		B シ
		C オ
		D コ
		E キ
		F エ
	2	道理
	3	(a) 東常緑
		(b) 後鳥羽上皇(後鳥羽天皇・後鳥羽法皇)
		(c) 藤原(九条)頼経
(d) 御伽草子(お伽草子)		
4	イ	
III	1	① コ
		② サ
		③ ウ
		④ ト
		⑤ チ
		⑥ セ
	2	(a) 新井白石
		(b) 桑
		(c) 高機
		(d) エ
		(e) 紅花
		(f) 国訴
		(g) イ
IV	1	① ヒ
		② カ
		③ イ
		④ ア
		⑤ エ
		⑥ ト
		⑦ ノ
		⑧ ス
2	(a) 内大臣	
	(b) 皇室典範	
	(c) 治安維持法	
	(d) 国会	

日本史〔前期A方式(1/30)〕

設問		解答例
I	1	① 公営田
		② (元慶)官田
		③ 田堵
		④ 名(負名、名田)
		⑤ 官物
		⑥ 受領
		⑦ 藤原元命
	2	(a) 2段(2)
		(b) 60日(60)
		(c) 6年(6)
	(d) 平将門	
	(e) 重任	
II	1	① 倭寇
		② 李成桂
		③ 高麗
		④ 対馬
		⑤ 足利義持
	2	⑥ キ
		⑦ ウ
		⑧ エ
	3	(a) 応永の外寇
		(b) 三毛作
(c) 壇の浦の戦い(壇ノ浦の戦い、壇浦の戦い)		
(d) ウ		
	(e) 三浦の乱	
III	1	① ウ
		② オ
		③ コ
		④ イ
		⑤ チ
	2	武家伝奏
	3	(a) 一国一城令
		(b) ア
		(c) 参勤交代(制)
(d) 崇伝(金地院崇伝・以心崇伝)		
	(e) ウ	
	(f) 本末制度(本山・末寺制度)	
	(g) ウ	
IV	1	① ソ
		② ツ
		③ コ
		④ タ
		⑤ ク
		⑥ テ
		⑦ ト
	2	(a) 自由民主党(自民党)
		(b) イ
		(c) 四大公害訴訟(四大公害裁判)
	(d) イ	
	(e) ウ	

日本史〔前期B方式(1/31)〕

設問		解答例
I	①	2
	②	3
	③	2
	④	4
	⑤	3
	⑥	3
	⑦	4
	⑧	1
	⑨	1
II	⑩	5
	⑪	6
	⑫	8
	⑬	2
	⑭	3
	⑮	1
	⑯	2
	⑰	1
III	⑱	2
	⑲	4
	⑳	3
	㉑	1
	㉒	3
	㉓	4
	㉔	3
	㉕	1
	㉖	2
	㉗	3
IV	㉘	1
	㉙	3
	㉚	1
	㉛	1
	㉜	4
	㉝	3
	㉞	3
	㉟	2
	㊱	4
V	㊲	1
	㊳	3
	㊴	2
	㊵	2
	㊶	4
	㊷	2
	㊸	4
	㊹	3
	㊺	4

日本史〔前期 A 方式 1/29〕

I

史料『大鏡』を題材にした問題。問1(e)天智天皇の時代に作成された根本台帳となる戸籍は庚午年籍。持統天皇の時代には庚寅年籍が作成された。(f)大友皇子と大海人皇子が672年に争った内乱は壬申の乱。勝利した大海人皇子は飛鳥浄御原宮に遷都し、673年に天武天皇として即位した。(g)天武天皇の皇后であった持統天皇は、694年に藤原京に遷都した。文武天皇や元明天皇の時代にも同様に藤原京が都とされたが、元明天皇の時代の710年に平城京に遷都された。(h)高市皇子の子で、729年に自殺に追い込まれたのは長屋王。この長屋王の変は藤原不比等の子である藤原武智麻呂・房前・宇合・麻呂らによる策謀であった。問2 大宅世継の語りによって進む歴史物語は『大鏡』である。

II

中世の文化を題材にした問題。問1 A 二条良基による連歌の規則書はウの『応安新式』。二条義基はスの『菟玖波集』も撰した。D 一条兼良による政道書はコの『樵談治要』。これは室町幕府9代將軍足利義尚の問いに答えたものである。一条兼良は他に有職故実の書であるカの『公事根源』などを著した。問3(a)古今伝授の始祖とされるのは東常縁。古今伝授とは『古今和歌集』の秘伝を、限られた人にのみ口頭で教え授けることである。問4 A～Fの作品を時代で大きく分類すると、鎌倉時代の作品がCとEで、残りが室町時代の作品である。どの選択肢にもCかEが入っているが、選択肢の中でCかEが最初にあるのはイなので、これが正解である。なお、Aは南北朝時代の作品で、Dは東山文化の時代の作品である。

日本史〔前期 A 方式 1/30〕

I

平安時代の律令体制の変化を題材にした問題。問1 ③田地の耕作を請け負ったのは農業経営に練達な田堵。国司と結んで大規模な経営を行う田堵は大名田堵と呼ばれた。④口分田などの公領は新たな課税単位である名(名田)に編成され、田堵がその耕作を請け負った。問2(a)当初の律令の規定で良民男子に班給されていた口分田の面積は2段。良民女性にはその3分の2となる1段120歩が班給されていた。(b)当初の律令の規定で雑徭の期間は年に60日を限度としていた。なお、桓武天皇は雑徭の期間を年間60日から30日まで半減させている。(d)東国で反乱を起こしたのは桓武平氏である平将門。平将門は東国の大半を占領して新皇を称したが、平貞盛と押領使の藤原秀郷に討伐された。

II

室町時代の日朝関係を題材にした問題。問1 ①②③李成桂は海賊集団である倭寇の制圧で名声を高め、918年建国の高麗を倒し、1392年に朝鮮を建国した。朝鮮は1910年に日本に併合されるまで続いた。問3(a)1419年に朝鮮軍が対馬を襲撃したのは応永の外寇。これは倭寇禁圧に積極的に朝鮮の信頼を得ていた対馬島主の宗貞茂が死去し、倭寇の動きが活発になったことで起こった。(e)1510年に起こった朝鮮での日本人の暴動事件は三浦の乱。応永の外寇後に朝鮮における日本の交易港は富山浦、及而浦、塩浦の3港(三浦)に限定され、そこに住む日本人には特権を与えられた。しかし、この特権が次第に縮小していき、それを不満として三浦に住む日本人は暴動を起こして鎮圧された。

III

江戸時代の社会経済を題材にした問題。問1 ②中国産の生糸をもたらし巨利を得ていたのは、サのポルトガル商人。当時、ポルトガル商人は中国(アのマカオ)を根拠地に活動していた。⑤開港後の貿易は、日米和親条約で開港していたチの箱館と、日米修好通商条約で開港が定められた神奈川(開港したのは横浜)と長崎の居留地で貿易が開始された。日米和親条約で開港した下田は横浜の開港で閉鎖となり、日米修好通商条約で開港が定められたソの兵庫(開港したのは神戸)は1867年、オの新潟は1868年に遅れて開港した。問2(d)『広益国産考』の著者はエの大蔵永常。アの宮崎安貞は『農業全書』、ウの田中丘隅は『民間省要』の著者。イの青木昆陽は甘藷(さつまいも)の普及に貢献した人物。

IV

大日本帝国憲法と日本国憲法の成立を題材にした問題。問1 ④1888年に伊藤博文を初代議長として設立されたのはアの枢密院。⑤大日本帝国憲法の発布や超然主義の立場を表明した首相はエの黒田清隆。枢密院議長となった伊藤博文の次に黒田清隆が首相となった。⑥人権指令に対応できず総辞職したのは、トの東久邇宮稔彦内閣。ポツダム宣言の受諾により鈴木貫太郎内閣が総辞職したため、次の東久邇宮稔彦内閣が連合軍の進駐受け入れや太平洋戦争の降伏文書への調印などを対応していた。問2(a)宮中で天皇を常侍輔弼するのは内大臣。宮中の事務を担当する宮内省の長官は宮内大臣である。内閣制度の制定時に行政府である府中と宮中が区別され、内大臣と宮内大臣は内閣の構成員にはならなかった。

III

江戸幕府の法度による統治を題材にした問題。問1 ④諸士法度はイの旗本と御家人に対して出された幕府による基本法令。旗本は將軍直属の家臣であり、將軍に謁見が可能である。御家人も將軍直属の家臣であるが將軍に謁見は許されていない。問2 朝廷と幕府の間で連絡にあたった役職は武家伝奏。武家伝奏は幕府によって公家の中から選ばれ、京都所司代からの幕府の指示を朝廷に伝えた。問3(b)居城の無断修築による武家諸法度違反で改易となったのはアの福島正則。イの加藤清正は武家諸法度発布前の1611年に死去している。ウの浅野長矩は1701年に吉良義央を殿中で傷つけたことで切腹した。エの高山右近はキリシタンで、禁教令により1614年にマニラに追放されて、現地で死去した。

IV

戦後の高度経済成長期を題材にした問題。問1 ①1955年～1957年の好景気はソの神武景気。ウの岩戸景気は1958年～1961年の好景気のこと、キのいざなぎ景気は1966年～1970年の好景気のことである。問2(a)1955年に日本民主党と自由党が合流した保守合同で成立した政党は自由民主党(自民党)。これは日本社会党の左右両派が統一したことを受けたもの。保守勢力が議席の3分の2、革新勢力が議席の3分の1程度を占めた状態が、1993年に非自民8党派の連立政権である細川護国内閣が成立するまで続いた。これを55年体制という。(e)1940年の出来事はウの日独伊三国同盟の調印。アの国家総動員法の公布は1938年、イの日ソ中立条約の調印は1941年、エの第二次世界大戦の勃発は1939年の出来事である。

日本史〔前期B方式 1/31〕

I

弥生時代から奈良時代の大陸文化の受容を題材にした問題。問1 (f) 玄昉や吉備真備をブレンとしたのは③橘諸兄。玄昉と吉備真備の排除を求めて、藤原広嗣は九州で挙兵した。(g) 絵の具・紙・墨の製法を伝えたと言われるのは④曇徴。①親勒は暦法を伝えた人物。②行基は奈良時代に大僧正として大仏の造営を助けた人物。③鑑真は奈良時代に盲目になりながらも唐から来日し、日本に正式な戒律を伝えた人物。問2 ①大仏造立の詔が出されたのは743年。②藤原広嗣が挙兵したのは740年。③紫香楽宮から平城京に戻ったのは745年。④国分寺建立の詔が出されたのは741年。よって古い順だと②→④→①→③の順番であり、3番目になるのは①である。

II

鎌倉時代後半から南北朝合一までの政治を題材にした問題。問2 (I) 龜山上皇が大覚寺統の祖である。その子孫となる(II) 後醍醐天皇による南朝が大覚寺統で、対する北朝が持明院統になる。最後の南朝の天皇が(V) 後龜山天皇で、大覚寺統である。問3 (a) 1285年は霜月騒動が起こった年なので①が正解。②引付を設置したのは1249年で、執権北条時頼の時代のこと。③内管領の長崎高資が権勢をふるったのは、執権北条高時の時代のこと。④永仁の徳政令が出されたのは1297年で、執権北条貞時の時代のこと。(c) 建武の新政で設置されなかったのは①奥州探題。建武の新政で設置されたのは陸奥将軍府である。奥州探題は室町幕府で設置された。

III

江戸時代の教育や学問を題材にした問題。問5 (b) 会沢正志斎(安)は水戸学の学者で、水戸藩の藩校の④弘道館が正解となる。①興譲館は米沢藩、②日新館は会津藩、③修猷館は福岡藩の藩校である。問6 町人の出資で設立され、山片蟠桃らを輩出したのは②大坂の懐徳堂である。問7 Bは朝廷で発生した1758年の宝暦事

件の中で、Cは京都の町人である石田梅岩とその心学についての内容である。よって京都の出来事を記したものを選ぶ必要がある。①Eは和学講談所なので、江戸である。②Fはシーボルトの鳴滝塾なので、長崎である。③Gは伊藤仁斎の古義堂なので、京都である。④Hは大槻玄沢の芝蘭堂なので、江戸である。よって正解は③Gとなる。

IV

江戸時代の史料を題材にした問題。史料Aは棄捐令、史料Bは寛政異学の禁、史料Cは困米、史料Dは人返しの法、史料Eは上知令についての内容。問4 (b) 史料B(寛政異学の禁)の正学とは④朱子学であり、湯島聖堂の学問所でそれ以外の講義や研究を禁じた。(c) 史料C(困米)の飢饉とは1782年～1787年の③天明の飢饉のこと。①寛永の飢饉は1641年～1642年のこと、②享保の飢饉は1732年のこと、④天保の飢饉は1833年～1839年頃のことである。問5 史料A(棄捐令)、史料B(寛政異学の禁)、史料C(困米)は松平定信による②寛政の改革で発布されたもの。史料D(人返しの法)、史料E(上知令)は水野忠邦による④天保の改革で発布されたもの。

V

近代の政治を題材にした問題。問1 地価を定めるため、1872年に解かれたのは①田畑永代売買の禁止令。これは江戸幕府により1643年に出された法令で、農民による田畑の自由な売買を禁じていた。問2 大蔵大臣の片岡直温の失言がきっかけで、1927年に発生したのは③金融恐慌。②震災恐慌で発生した震災手形の処理について、片岡直温蔵相が休業していなかったある銀行を破綻したと失言してしまったことで取付け騒ぎが発生した。これで多くの銀行が破綻や休業となった。①戦後恐慌は大戦景気の反動で1920年に発生した恐慌。④昭和恐慌は、1929年に発生した世界恐慌の影響を、日本が大きく受けて発生した恐慌。